

安全データシート

改訂日: 2025年5月29日

1. 製品及び会社情報	
製品名	ひまし油
推奨用途	試験研究用
会社名	米山薬品工業株式会社
住所	大阪市中央区道修町2丁目3番11号
電話番号	(06)6231-3555(大阪・本社) (03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田) (052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
整理番号	FB0420
2. 危険有害性の要約	
GHS分類	分類の基準に該当しない
ラベル要素	
絵表示又はシンボル	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし
3. 組成、成分情報	
化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名	ひまし油
別名	カストル油
化学式又は構造式	—
化学物質を特定できる一般的な番号	CAS RN: 8001-79-4
成分及び含有量	ひまし油 (リシノール酸を約90%含む脂肪酸トリグリセライド) その他の脂肪酸 = C16, C18, C18F1, C18F2他
官報公示整理番号(化審法、安衛法)	安衛法: 11-(4)-600
その他	HSコード: 1515.30
4. 応急措置	
吸入した場合	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、又は取り去ること。 多量の水と石鹸で洗うこと。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状	経口摂取: 腹痛。下痢。吐き気。嘔吐。
5. 火災時の措置	
適切な消火剤	粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤、乾燥砂。
使ってはならない消火剤	水噴霧
特有の危険有害性	分解生成物の特徴は不明である。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 容器が熱に晒されているときは、移さない。 安全に対処できるならば着火源を除去すること。 適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。
消火を行う者の保護	
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置	全ての着火源を取り除く。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 密閉された場所に立入る前に換気する。 環境中に放出してはならない。 不活性材料(例えば、乾燥砂又は土等)で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。 危険でなければ漏れを止める。 すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。
環境に対する注意事項	
封じ込め及び浄化方法・機材	
二次災害の防止策	排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策(局所排気・全体換気)	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱い注意事項	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。 火気厳禁 静電気放電に対する措置を講ずること。 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 保護手袋／保護衣／保護めがね／保護面を着用すること。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。
接触回避	酸化剤、イソシアネート
衛生対策	取扱い後はよく手を洗うこと。

保管		
適切な保管条件		消防法の規定に従う。 保管場所には危険・有害物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な照明及び換気の設備を設ける。直射日光を避け、冷暗所に保管する。 施錠して保管すること。 ガラス、スチール
容器包装材料		
8. ばく露防止及び保護措置		
管理濃度		未設定
許容濃度等		
日本産業衛生学会		未設定
ACGIH		未設定
濃度基準値	8時間:	未設定
	短時間:	未設定
設備対策		取り扱いの場所の近くに、洗眼および身体洗浄剤のための設備を設ける。 高温下や、ミストが発生する場合は換気装置を使用する。
保護具		
呼吸器の保護具		適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具		適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具		適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具		適切な保護衣を着用すること。
9. 物理的及び化学的性質		
物理状態		粘性液体
色		淡黄色ないし黄褐色
臭い		わずかな特異臭
融点/凝固点		-10~-18℃
沸点又は初留点及び沸点範囲		313℃
可燃性		可燃性
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界		該当情報なし。
引火点		302℃(c.c)
自然発火点		448℃
分解温度		該当情報なし。
pH		該当情報なし。
動粘性率		950-1100mPa*s(20℃)
溶解度		水に不溶、アルコール・ケトン・エーテル及び氷酢酸に可溶。
n-オクタノール/水分配係数		logKow=19.8
蒸気圧		室温での蒸気圧はごくわずか(<0.1 Pa)。
密度及び/又は相対密度		0.96(水=1)
相対ガス密度		該当情報なし。
粒子特性		該当情報なし。
10. 安定性及び反応性		
反応性、化学的安定性		通常の取り扱い条件では安定である。
危険有害反応可能性		該当情報なし。
避けるべき条件		着火源、静電気防止処置を取る。
混触危険物質		酸化剤、塩基類、還元剤(イソシアネート)
危険有害な分解生成物		該当情報なし。
11. 有害性情報		
急性毒性		経口: 該当情報なし。(分類できない) 経皮: 該当情報なし。(分類できない)
	吸入(蒸気):	該当情報なし。(分類できない)
皮膚腐食性・刺激性		ヒトの皮膚に軽度の刺激性(48時間)。
眼に対する重篤な損傷・刺激性		ウサギの眼に軽度の刺激性。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器:	該当情報なし。(分類できない)
	皮膚:	該当情報なし。(分類できない)
生殖細胞変異原性		該当情報なし。(分類できない)
発がん性		該当情報なし。(分類できない)
生殖毒性		該当情報なし。(分類できない)
特定標的臓器・全身毒性-単回ばく露		該当情報なし。(分類できない)
特定標的臓器・全身毒性-反復ばく露		該当情報なし。(分類できない)
誤えん有害性		該当情報なし。(分類できない)
12. 環境影響情報		
生態毒性	短期(急性):	該当情報なし。(分類できない)
	長期(慢性):	該当情報なし。(分類できない)
残留性・分解性		該当情報なし。
生態蓄積性		該当情報なし。
土壤中の移動性		該当情報なし。
オゾン層への有害性		当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
13. 廃棄上の注意		
化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報		産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。
14. 輸送上の注意		

国連番号	—
品名(国連輸送名)	—
国連分類	—
容器等級	—
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。
国内規制がある場合の規制情報	
陸上輸送	消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
海上輸送	船舶安全法に定めるところに従うこと。
航空輸送	航空法の定めるところに従うこと。
応急措置指針番号	—
15. 適用法令	
化学物質管理促進法(PRTR法)	指定化学物質に該当しない。
労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。
毒物及び劇物取締法	毒物及び劇物に該当しない。
消防法	危険物に該当しない。
海洋汚染防止法	第1 有害液体物質(Y類物質)
16. その他の情報	
引用文献	NITE-CHRIP(製品評価技術基盤機構HP) 化学品安全管理データブック(化学工業日報社) 17423の化学商品 記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。